

中川村の製糸場

瀬谷区阿久和町小金井団地近くの「長屋門公園」前に「この付近には、相州改良社と大剛社があり、そのため人の出入り車馬の往来が繁しく賑やかなことから、江戸阿久和といわれていた」と記された製糸場の案内板が立っている。



北井家と製糸場跡

糸製造高一四〇〇〇斤と、この近在では最大規模を誇る工場であった。

阿久和をはじめ岡津や上矢部など当時中川村と呼ばれた地域は、瀬谷村、中和田村と同じように、製糸業の盛んな地域であった。

次頁の表は、明治中期から大正初期にかけての中川村内の製糸場の年代別の操業状況と生糸製造高を表したものである。

相州改良社（改良合名会社）は、阿久和の北井要太郎が経営した製糸場で、新橋の中丸定右衛門をはじめ近在の十一名の人々が出資して、明治二十四年（一八九一）二月に設立された合名会社である。

明治四十年の農商務省の調査によると、釜数二二〇、生

この表によると、中川村内の製糸場の操業が盛んだったのは、明治三十年から四十年にかけての頃で、その後日露戦争前後の荒波を乗り切ることができず、大正元年八月、改良合名会社が廃業した頃には、中川村の製糸場もほとんど廃業したと思われる。昭和十二年には、中川村内で操業している製糸場は一軒もなくこの地域では、瀬谷村の川口製糸場、守屋製糸場、宮崎製糸場の経営を引き継いだ中和田村の相模社の三社を数えるのみであった。



小林製糸場商標

中川村の製糸場 年代別操業状況

調査年	会社名	設立	釜数	工員数	生糸生産高	社長及び代理者	
明治二八年	相州改良社(改良合名会社)	M 24	一〇〇	………	二二五〇斤	………	
	岸松館製糸場	M 27	一〇〇	五三名	一九八二斤	鈴木政八	
明治三一年	改良合名会社	M 24	三四〇	一八五名	七八七五斤	北井要太郎	
	大岡製糸場	M 27	八〇	四二名	一五五〇斤	大岡源兵衛	
明治三五年	改良合名会社	M 24	三四〇	一五六名	八五五〇斤	北井要太郎	
	大岡製糸場	M 27	八〇	三七名	一四〇〇斤	大岡源兵衛	
	小林太八郎製糸場	M 31	八八	三六名	二二〇〇斤	小林太八郎	
	岸松館製糸場	M 27	八〇	四二名	一五〇〇斤	鈴木政八	
	小林製糸場	M 29	六〇	三一名	一五〇〇斤	小林政五郎	
	小糸製糸場	M 35	………	二五名	………	小糸重太郎	
	越水器械製糸場	M 35	………	二四名	………	越水政五郎	
	明治四〇年	改良合名会社	M 24	二二〇	一二〇名	一四〇六二斤	北井要太郎
		大岡製糸場	M 27	三〇	三〇名	一六五〇斤	大岡源兵衛
		小糸製糸場	M 35	三〇	三〇名	一四〇〇斤	小糸重太郎
大岡分館製糸場		M 37	三〇	三〇名	一四〇〇斤	鈴木七郎右衛門	
小林製糸場		M 29	四〇	三〇名	一〇〇〇斤	小林政五郎	
相原製糸場		M 36	二〇	二〇名	六七五斤	相原嘉太郎	
大正元年		改良合名会社	M 24	一二〇	一〇六名	五六二〇斤	北井要太郎
		相原製糸場	M 36	五〇	五二名	一七九二斤	相原嘉太郎
		小糸製糸場	M 35	四六	四二名	一五一二斤	小糸重太郎
		大正五年	小糸製糸場	M 35	四六	四六名	一六八七斤